

I. 試作の目的	1
1. 触地図作成上の問題点と具体例の必要性	1
2. 利用者側の条件をみたす必要性	2
3. 触地図の作成方法	3
II. 事 例	4
III. 触地図の作成例	6
1. 建物内の部屋の例	6
2. 建物全体の例	9
3. 街路の歩いて移動する空間の例	14
3. 1. Nの買い物の空間	14
3. 2. M盲学校近辺の空間	20
4. 街路の乗物で移動する空間の例	22
IV. 触地図を利用する人の側の条件について	27
1. 触地図の導入段階での配慮	27
2. 環境の認知と触地図の活用	29
A. 経路の把握について	29
1. 触地図上の進行方向と現地での進行方向の不一致について	29
2. 触地図上で経路を決定することについて	36
B. 環境内の諸対象物の位置づけ	39
1. 目的地を出発点と経路で位置づける	39
2. 目的地までの経路の途中に位置づける	39
3. 1本の道路（通路）全線に沿って位置づける	39
4. 道路で囲まれた区画内に位置づける	41
V. ま と め	42
引用文献	44